

こども教育学部 こども教育学科カリキュラムマップ(2026年度入学生用)

授与する学位:学士(こども教育学)		ディプロマ・ポリシー															
知識・理解	幅広い視野	DP1:人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している DP2:教育・保育分野について適切な知識や理解、そして技術を有している DP3:幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる															
		汎用的能力	基本的能力	DP4:適切な日本語運用力を修得し、活用することができる DP5:母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる DP6:基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる DP7:数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる													
態度・志向性	豊かな人間性			DP8:仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている DP9:多様性の尊重と共生の精神を有している DP10:日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる													
		統合的な学習経験と創造的思考力	応用的能力	DP11:高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる DP12:教育・保育分野の知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる DP13:教育・保育分野の知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している													
学科目	科目の主題			科目の到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号												
		○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで															
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
基礎ゼミⅠ	大学生としての学び方を身に付ける	1. 大学生としての学び方に徐々に慣れる 2. 保育・教育を学ぶ学生に期待される常識やマナーを身に付ける 3. それぞれが調べてきたことを発表し、意見を述べ合い、共同思考の仕方や意義を知る		○		○								○			
基礎ゼミⅡ	基礎ゼミⅠで学んだ大学生としての学びの方法を実践する	1. 専門的な文献の読み方、理解の仕方、要約の仕方を知る 2. 専門的な文献を読んで、自分の関心に応じて論点を見出すことができる 3. 専門的な文献を読んで、自分の意見をまとめ、論理的に説明できる			○	○							○				
教育原理	教育の理論と実践の関係を把握する	1. 教育の本質と社会的役割について理解している 2. 教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、現代社会における多様な教育課題について、歴史的背景も踏まえて自らの見解を述べるができる 3. 学校、家庭、社会における教育に関する様々な思想を理解し、将来の教育のあり方について構想することができる		○			○						○				
子どもの理解と援助	子どものこころを理解するための基本的知識を身に付け、子どもの育ちや学びを支えるかかわりについて考える	1. 子ども理解を深める基礎的知識を身に付ける 2. 一人ひとりの子どものあり方を理解し、子どもの育ち、学びを支える援助のありかたについて考える 3. 授業での学びを手がかりとして、保育者のありかたについて自分なりに考えることができる			○										○		
教育行政学	「教育の条件整備」のための教育法規・教育行政・教育政策	1. 教育に関する社会的、制度的または経営的事項を理解し習得している 2. 教育制度、教育政策、学校経営に関する理解を深めている 3. 教育に関するさまざまな問題について深く考えることができる		○													
人権教育	人権尊重の精神を堅持して、適切な権利行使ができる実践的指導力の育成	1. 人権の概念と人権教育の重要性の理解 2. 人権感覚を育て、人権尊重の実践的思考力の強化 3. 人権関連の国際法と国内法の概要理解		○	○										○	○	○
仏教教育論	仏教精神に立った保育・教育の理解と実践力の涵養	1. 仏教の人間観・世界観に立って教育・保育を考えることができる 2. 建学の精神である「真実心」が理解できている 3. 仏教精神を教育・保育の実践に活かす構想ができている			○	○				○			○				
音楽Ⅰ	保育音楽・小学校音楽で求められる知識・技能を習得するための導入編	1. 幼児教育および小学校における音楽指導を行う上で必要となる基本的な音楽理論を習得する 2. 正しい日本語の発音にも目を向け、美しい発音で歌えるようにする 3. 正しい姿勢、呼吸法の基礎を身に付け、疲れにくい健康的な発声を習得する			○									○	○	○	
音楽Ⅱ	保育音楽・小学校音楽で求められる知識・技能を習得するための基礎編	1. コードネームによって弾き歌い曲に簡単な伴奏がつけられる 2. 各自の能力に応じた弾き歌い曲を指定曲から選択し、規定の曲数以上をクリアする 3. 各自の能力に応じたピアノ/ソロ曲を指定曲から選択し、バイエル中級程度以上の曲をクリアする			○									○	○	○	
音楽Ⅲ	幼児教育および小学校における音楽指導で必要となる技能の習得を目指す応用編	1. グループで音楽アンサンブルを創り上げることができる 2. 各自の能力に応じた弾き歌い曲を指定曲から選択し、規定の曲数以上をクリアする 3. 各自の能力に応じたピアノ/ソロ曲を指定曲から選択し、バイエル終了程度以上の曲をクリアする			○						○			○	○	○	
障害児保育・特別支援教育	障害児保育に関する理念の動向、特別支援とインクルージョンな在り方、さまざまな障害とその特徴、保育上の配慮、家族や地域との連携について学ぶ	1. 特別な支援を必要とする子どもを取り巻く社会現象や諸問題に対して自分の考えを持つ 2. それぞれの障害の特性を理解する 3. 障害のある子どもと共に育ちあう教育/保育実践の手だてを考える			○									○	○	○	
図画工作Ⅰ	幼児・児童の造形表現活動について理解する	1. 子ども自身の発達と造形技能の発達のかかわりについて理解する 2. 描き作るための基本的な材料・用具・技法の特性を理解し、適切に使用できる 3. 幼児教育・小学校教育の中で取り扱う造形教材とその指導法について理解する			○									○	○	○	
体育Ⅰ	子どもの発達に応じた運動遊び・体育の教材を理解し、実践する	1. 幼児期・学童期それぞれの発達課題を踏まえた具体的な運動遊びおよび体育の教材について理解する 2. 幼児期・学童期の具体的な運動遊びおよび体育の教材を実践できるようになる 3. 運動遊び、運動を安全に楽しく活動できる方法を理解する			○									○	○	○	
保育者論	幼稚園教員・保育士の役割と職務内容の理解、チームとしての園運営を含む職務内容について学ぶ	1. 教育・保育関連法規に定められた幼稚園教諭・保育士の位置づけや職務内容を理解する 2. 幼稚園教諭・保育士の専門性について理解し、自らの保育者像を言語化する 3. 保育者の成長と、それを支える研修のあり方、保育者の協働について理解する			○									○	○		○
保育内容総論	幼児期の発達特性や幼児教育の基本を理解して保育内容の考え方を学び、子どもの活動を5領域から総合的に捉える視点を養う	1. 保育における実践を5つの領域から総合的に捉えることを理解する 2. 子どもの今後の発達を見据えた保育案を立案しようとする 3. 保育の内容を具体的にイメージし、実践へつなげることを理解する			○									○	○	○	
保育の計画と評価	乳幼児期における教育課程・全体的な計画(保育課程)とはどのようなものか、また計画をもとに実践をしたことに対する評価・改善についてどのように考えるかを理解する	1. 教育課程・全体的な計画(保育課程)の全体構造を知り、計画の必要性とその意義を理解する 2. 指導計画・保育計画の作成や記録、反省評価に関しての基本的な考え方を理解する 3. カリキュラムマネジメントについて理解する			○									○	○	○	
保育の心理学	乳幼児期の子どもの心身の発達・学習の過程を理解する	1. 発達を捉える視点について理解する 2. 子どもの発達過程や学習過程を理解する 3. 乳幼児期の子どもの学びと保育について考える			○									○	○		



学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号																
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで																
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15		
子育て支援	保育士の行う子育て支援の特性および展開を理解し、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を実践事例等を通して習得する	1. 保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)の特性を理解する 2. 保育士の行う子育て支援の展開について理解する 3. 保育士の行う子育て支援の実践事例等を通して、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を具体的に理解する		○												○	○		
社会的養護Ⅰ	社会的養護の意義および子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解し、制度、実施体系等について学ぶ	1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する 2. 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する 3. 社会的養護の制度・実施体系、対象や形態、関係する専門職等について理解する			○											○	○		
子どもの保健	正常小児の発育及び疾病とその予防について理解する	1. 子どもの心身の健康と保健の意義について理解する 2. 子どもの身体発育について理解する 3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について理解する			○											○	○		
子どもの健康と安全	保育に必要な子どもの成長・発達・健康についての理解を深め実践的な技術を習得するとともに、衛生管理並びに安全対策についての方法を習得する	1. 保健活動の計画・評価及び適切な環境について理解する 2. 体調不良等に対する適切な対応や感染症対策について理解する 3. 衛生管理並びに安全対策について理解し、その方法を習得する			○											○	○		
子どもの食と栄養	子どもの特性を理解し、健康の維持・増進に貢献するための食事に必要な知識・技術を習得する	1. 栄養と食品に関する基礎知識を身につける 2. 子どもの発育・発達に応じた食生活のあり方を理解する 3. 食育の基本を学び食育の企画ができる														○	○		
子ども家庭支援論	子育て家庭の現状を理解し、子育て家庭の多様なニーズに応じた支援について理解する	1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的、支援体制を理解する 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する 3. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する														○	○		
乳児保育Ⅰ	乳児(0,1,2歳児)と、乳児保育についての基本的な理念、知識、技術を学ぶ	1. 乳児は養育者や保育者に関わってもらうことによって育つ存在であることを知る 2. 乳児期の子どもの食事、排泄、生活リズムなどの発達と援助、健康、安全について知る 3. 乳児の発達に即した保育内容と環境づくりを理解する														○	○		
乳児保育Ⅱ	乳児と、乳児保育についての基本的な理念、知識を学び、その実際と展開を学ぶ	1. 乳児保育の基本理念を理解し、保育技術を学ぶ 2. 乳児保育における発育/発達を踏まえた生活と遊びの実際、配慮の実際を学ぶ 3. 乳児保育における保育計画を学ぶ														○	○		
社会的養護Ⅱ	施設養護および家庭養護の内容および実際を知り、社会的養護における支援の計画の作成や具体的な支援方法・技術について学ぶ	1. 社会的養護の基礎的な内容と実際について具体的に理解する 2. 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する 3. 社会的養護に関わる専門的技術について理解する														○	○		
こどもと英語	日本における幼児期の英語教育についての理解と実践方法について学び、多文化共生と教育について考える	1. 幼児期に英語や外国の文化にふれる意義を理解できている 2. 英語活動を通じた子どもの育ちについて理解できている 3. 講義を通して、多文化共生と教育について自身の理解を深める	○				○												
教職論	教職の専門性と教師の魅力について学ぶ	1. 教職という仕事を多面的に理解している 2. 専門的な能力を築きつつ、児童・生徒の学びをデザインできる実践的スキルを備えている 3. 教職の専門性に裏打ちされて、総合的に展開できる実践的指導力を備えている	○		○														
教育心理学	幼児、児童及び生徒の心身の発達・学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	1. 教育心理学の様々な領域における基本的な知識を習得する 2. 教育心理学的なものの見方を理解できる 3. 教育心理学を实践と結びつけながら考え、相互の理解を深める														○	○		
道徳教育の理論と指導法	道徳教育の歴史・理論および「特別の教科 道徳」の意義と指導法	1. 日本と西欧における道徳教育の歴史を習得している 2. 学校教育における道徳教育の目標と内容と方法を統一的に理解している 3. 実践的に解決しがたい問題にも、解決方法を模索し創意する志向性を有している	○																○
特別活動指導論(初等)	特別活動の考え方や内容を学習指導要領に即して知るとともに、その源流である課外活動の発展の歴史を知り、生き生きとした特別活動を実践する方途を考える	1. 特別活動の発展過程とその中心となる原理(集団指導)について理解する 2. 特別活動に関する学習指導要領の内容を理解する 3. 特別活動の指導案を作成し、指導できる力を身につける			○	○			○										
生徒指導論(初等)	生徒指導の理論及び方法・進路指導の理論及び方法	1. 個性を持つ児童・生徒一人ひとりを理解するための基礎を学ぶ 2. 教師の専門性をふまえながら児童・生徒に対する理解及び援助の方法について考える 3. 生徒指導の理論と方法を実践と結びつけながら考え、相互の理解を深める														○	○		
教育方法論(ICT活用含む)	教育方法及び教育現場における情報通信技術の活用について理解する	1. 教育方法に関する理論に基づき、授業研究を行うことができる 2. 教育方法に関する理論に基づき、教材研究を行うことができる 3. 学習教材を計画・開発・評価するプロジェクトに取り組むことができる	○						○										
教育課程論(初等)	教育課程の概念と学習指導要領(総則)についての理解を深め、学習指導案作成に活かせるようにする	1. 教育課程の意味や構成原理、そこに含まれる諸問題について理解できている 2. 学習指導要領(総則)の内容が理解できている 3. 学習指導要領を踏まえ、児童の成長に資する指導案が作成できる														○			○
教育相談(初等)	教育現場における保護者や子どもとのコミュニケーションのありかたについて、カウンセリングの観点から考える	1. カウンセリングおよび教育相談の基本的知識・技能を身につける 2. 保護者の状況を理解し、一人ひとりにあった適切ななかかわり、連携について考える 3. 子どもの状況を理解し、一人ひとりにあった適切ななかかわり、連携について考える														○	○		
国語科指導法	児童生徒が習得すべき基礎・基本と活用の関係を明らかにし、実生活に生きてはたらく国語力育成のために有効な指導法について学ぶ	1. 実生活に生きてはたらく国語力育成のための授業、指導方法を理解する 2. 目標と評価の関係を明確にした国語科学習指導案を作成することができる 3. 作成した国語科学習指導案をもとに模擬授業を行うことができる														○	○		
社会科指導法	社会科の基礎的理解と社会科授業づくりの実践力の育成	1. 小学校及び中学校社会科の問題解決的な学習について、授業の構成要素から美感的に理解し、実践のイメージをもてるようにする 2. 小学校及び中学校社会科の単元構成を理解し、学習指導案を作成する 3. 模擬授業を行い、全体で振り返ることに伴い、授業を進める力をつける	○																
算数科指導法	小学校算数科の目標、内容、指導法、評価への理解を深め、教育実践に必要な知識・技能を習得し、それを実践で活用しようとする	1. 算数科の目標、内容、指導法、評価に関心を持ち、教育実践に必要な知識・技能を習得し、それを実践で活用しようとする 2. 指導内容、指導方法や教材、教具、子どもの学びなどについて具体的に伝える、学習指導案を作成する 3. 模擬授業を行うことを通じて、算数科の指導方法を身につける														○	○		
理科指導法	観察や実験などを通して、直接自然に触れながら小学校理科の指導に必要な知識と技能を習得する	1. 小学校理科の目標と内容を理解し、指導計画の立て方と指導案の書き方を習得する 2. 小学校理科における実験や観察など問題解決学習の具体的な進め方や指導のあり方を理解する 3. 模擬授業を行い、的確な指導方法を身につける	○	○												○	○		



学 科 目	科 目 の 主 題	科 目 の 到達 目 標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある ※1つの達成目標に対して最大3個まで														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
教育実習(幼・小)	幼児・児童への理解を深め、幼稚園・小学校の保育・教育及び教職員の職務を理解するとともに、その理解を基に幼児・児童への日々の関わり及び作成した指導案による保育・授業を通して、実践力を培う	1. 幼稚園・小学校の特質と保育・教育及び幼児・児童の発達・特性・生活を理解する 2. 幼児・児童理解を深め、その理解と幼稚園・小学校の特質を踏まえた日々の関わり及び作成した指導案による保育・授業を通して、実践力を培う 3. 実習を振り返り自己の課題を明確にするとともに、教職員の職務について理解し、職業に就く意欲を高める		○										○	○		
教職・保育実践演習	これまでの教育課程を振り返り、教員・保育者として暮らさなければならない資力能力を身につけられたかを確認する	1. 教育・保育に関する専門的知識・技能等を習得したか、自らの学びを振り返り確認する 2. 教育・保育に関する現代的課題について現状分析・検討を行う 3. 自己の課題を明確化し、教育・保育の実践に際して必要となる基礎的な資力・能力の定着を図る		○	○												○
保育実習指導Ⅰ	保育実習Ⅰの意義と目的を理解し、保育所および施設での実践体験を通して、保育者の働きを学ぶとともに、対象児・者を理解し、保育者を志す者としての自身の課題を把握する	1. 保育実習Ⅰの意義・目的・形態を理解する 2. 保育実習Ⅰに向けて課題を明確にする 3. 保育実習Ⅰを振り返り、今後の課題を明確にする。		○										○			
保育実習指導Ⅱ	実習の意義と目的を理解し、教材研究と模擬保育によって保育実践力を培う。また、事後指導において実習を振り返り、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。	1. 保育実習Ⅱの意義・目的・形態を理解する 2. 保育実習Ⅱに向けた保育実践力を培う 3. 保育実習Ⅱを振り返り、今後の課題を明確にする。		○										○	○		
保育実習指導Ⅲ	実習の意義と目的を理解し、これまでの学びを踏まえ、事後検討から保育実践力を培う。また、事後指導において実習を振り返り、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。	1. 保育実習Ⅲの意義・目的・形態を理解する 2. 保育実習Ⅲに向けた保育実践力を培う 3. 保育実習Ⅲを振り返り、今後の課題を明確にする。		○										○	○		○
保育実習Ⅰ(保育所)	乳幼児への理解を深め、保育所の機能、保育士の職務を理解すると共に、子どもの発達に合った援助の方法を学ぶ	1. 保育所の保育について理解する 2. 乳幼児の発達の概要を理解する 3. 保育所、保育士の役割について理解を深める		○										○			
保育実習Ⅰ(施設)	児童福祉施設(保育所以外)等での実習を通して、施設保育士の職務や児童・利用者への援助のあり方について学ぶ	1. 実習施設の機能と役割、施設保育士の職務・倫理を理解する 2. 利用者・者のニーズを理解し、適切な援助を行う 3. 保育士としての自己の課題を明確化する		○										○	○		○
保育実習Ⅱ	乳幼児への理解を深め、保育所の機能、保育士の役割を理解すると共に、子どもの発達に合った援助の方法を学び実践する	1. 保育所の保育について理解する 2. 乳幼児の発達に沿った援助を理解し実践する 3. 保育所、保育士の役割について理解を深める		○										○	○		○
保育実習Ⅲ	児童福祉施設(保育所以外)等での実習を通して、施設の役割・機能、保育士の専門性を理解し、自らの保育士としての課題を明確にする	1. 既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等(保育所以外)の役割や機能について実践を通して、理解する 2. 家庭と地域の生活実態にふれて保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力、保育士の業務内容や職業倫理を習得する 3. 保育士としての自己の課題を明確化する		○										○	○		○
こどもと絵本Ⅰ	「絵本」についての幅広い知識を得るとともに、子どもたちが絵本と関わっていく過程について理解する。また、絵本に対する技能や感覚を高める。	1. 子どもが関わる絵本について理解する 2. 子どもが絵本と出会う言葉や表現力を豊かにするための保育者の役割を理解する 3. 講義や実技を通して、自身の絵本の世界を広げる		○										○	○		
こどもと絵本Ⅱ	絵本のもつ力やその役割について再認識するとともに理解を深める。そして幅広い社会に絵本を広めていく担い手として絵本のある環境を大事に考えられるような感性を磨く	1. 様々な人のリクエストに応え、絵本のもつ役割、機能の可能性について学ぶ 2. 絵本のもつ力について様々な角度から学び、絵本のもつ役割について理解する 3. 講義や実技を通して、自身の感性を磨く		○										○	○		○